

これまでの検討経緯

これまでに計2回の委員会を開催するとともに、アンケートを実施しました。本日が最後の委員会となりますが、この後、本日の検討内容を踏まえ、補修を含む塗り替え工事を行って参ります。今後を含むスケジュールは下表のとおりとなります。

H. 19	H. 20											
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
● 第1回委員会開催		● 第2回委員会開催		アンケート実施		● 第3回委員会開催	補修工事・防災工事		犀川・犀星まつり			塗り替え工事

なお、これまでの委員会および本日の議事内容は、下表のとおりとなります。

● 第1回検討委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1, 現地確認 2, 規約の確認 3, 委員長選出 4, 委員会発足理由 5, 前回の決定経緯確認 6, 今後の進め方の確認 7, その他
● 第2回検討委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1, 景観コンセプトの確認 2, 色相・明度・彩度の絞り込み 3, アクセントの付け方 4, 本橋色彩候補色の検討 <p>(※第2回委員会の終了後、候補色についてのアンケートを実施)</p>
● 第3回検討委員会 (本日)	<ol style="list-style-type: none"> 1, 最終候補色の決定 2, 付属物の色彩検討 3, アクセントとしての金沢箔の活用 4, 本橋の解説板についての意見聴取

第1回景観検討委員会の議事概要

第1回目の委員会では、現地確認の後、主に現地の印象と橋の色彩に関する方向性に関してのご意見をいただきました。以下に概要を整理しました。

- デザインコンセプト、色彩選定の方向性に関する主要意見の整理
 - ・周辺建築(茶系)との関係を明らかにする必要がある。
 - ・周囲に埋没せず、ある程度存在感のある色彩が良い。
 - ・アクセントカラーを取り入れる必要がある。
 - ・周辺とのコントラストがあるよう、明るめの色彩を選定するのが良い。
 - ・照明(ガス灯をイメージしたオレンジ系の光源)と調和する色彩が良い。暮れなずむような雰囲気が良い。
 - ・浅野川大橋を代表格とする浅野川は着物が映えるような女性的な雰囲気があり、暖色系である。(それに対し)犀川(犀川大橋)は男性的な寒色系がよい。
 - ・参考事例にあるような赤や黄(高彩度色彩)は好ましくない。
- その他
 - ・日本の伝統色から選定するのが良い。
 - ・文化財の価値をPRする必要がある。
 - ・金箔を用いてみたい。

【犀川大橋景観デザインコンセプト】

①周辺自然環境との調和

周辺の建築物は、様式・色彩・規模等、時代の要請や技術の進歩、経済的な豊かさの変化などからその姿を変えましたが、変わらなかった重要な景観構成要素の「犀川」「周辺の緑」「空」と常に調和する色彩が選ばれてきました。

②シンボル性

本橋形式そのものが既に示すように、金沢市街地中心部への玄関口として常に「シンボル」であり続けてきました。

③金沢らしさ

様々な文化工芸が今も色濃く受け継がれている金沢は、常に美しい自己表現を追求してきました。犀川大橋の「お色直し」も常に意識されてきました。

【意見のまとめ】

- ①「明度」については、明るい色彩がよいとの意見が多く見受けられました。
- ②「彩度」については、色味で表現すべきではないとの意見から高めは回避した方がよいようです。
- ③「色相」については、水と緑に代表される寒色系、電灯の暖色系など、様々な意見がありました。
- ④金箔など、アクセントが必要との意見がありました。

第2回景観検討委員会の結果概要

第2回目の委員会では、本橋の具体的な色彩に関してのご意見をいただきました。以下に概要を整理しました。

- グラデーションに関する主要意見の整理
 - ・グラデーションはすばらしいアイデアで、市民からも好感が持たれている。
 - ・橋の形状から考えると、現在と同様な水平方向のグラデーションが良い。
- 色彩に関する主要意見の整理
 - 【青緑系に関する意見】
 - ・「錆青磁」が、金沢の香りもありつつ、浅野川の暖色系との対比ともなり、この色を基本としたグラデーションとしてみてはどうか。
 - 【紫系に関する意見】
 - ・紫系あるいは「灰桜」が良い。冬にも暖かみを感じられ、華やかさもある。
 - ・「品格・気品」といった金沢らしさを表す「薄藤」、「薄色」が良いと思う。
 - 【青系(現状)に関する意見】
 - ・金沢のまちは所々に現代的なものを取り込んだものとなっており、現在の青系の色は現代的なセンスを感じさせる。
- その他
 - ・橋銘板については、地を金箔として、文字を焦げ茶系の色としてみてはどうか。
 - ・アンケートの方法については、ホームページ上だけでなく、イベントなどに合わせて実施するなど配慮して欲しい。

【意見のまとめ】

- ①市民に浸透しつつあるグラデーションの技法を踏襲することとしました。
- ②色相については、「青緑系」、「青系(現況)」、「紫系」の3候補に絞られました。
- ③金沢らしさの表現として橋銘板に金箔を活用することとしました。

※その他の意見として...

- ・青緑系については「10BG」、紫系については「10P」という具体的な色相が提案されました。
- ・アンケートを引き続き実施することとし、その際、インターネットのみのアンケートで主婦層の意見が減少傾向にあったため、HP以外のアンケート手法も検討することとしました。